

(トピック型) プログラム 活動(ユニット)案 「もちもの1・2」

プログラム名 : トピック型日本語プログラム		
ユニット名	もちもの	
対象児童・生徒	(◎) 小低 (○) 小中 (○) 小高 () 中学生 ◎: 主な対象 ○対象	
時間	(25) 分 × (2) 回	
形態	(○) 少人数グループ () 個別	
日本語の力 (ことばの ものさし で)	・視覚的な支援を得ながら身の回りのことについての話題を理解し、主に単語で話したり質問に答えたりすることができる。(聞く・話す)	
	・ひらがな清音を読んだり、書いたりすることができる。(読む・書く)	
	[聞く・話す] ステップ1 [読む] ステップ1 [書く] ステップ1 [聞く・話す] ステージA [読む] ステージA [書く] ステージA	
目標 (Can-do)	文房具や学習用具について、持っているかどうか伝え、持っていない場合には、友達に頼んで、貸してもらったり、見せてもらったりすることができる。	
既習事項	わたし、応答表現(はい、いいえ)、何? 所有の助詞「の」、好き	
語彙・表現	語彙 筆箱、えん筆、消しゴム、はさみ、のり、色えんぴつ等の文房具、ノート、教科書(本)等の学校生活で使うもの (太字を主な目標とし、他は紹介程度とする)	
	表現 ・貸して(貸してください) ・見せて(見せてください)	
コア日本語 (文型・文法/語彙)	・Nがある/ない(あります/ありません) (所有・存在) ・疑問の上昇イントネーション ・並立を表す格助詞「と」(NとN) 筆箱、えん筆、消しゴム、ノート、教科書(本)	
	学習活動	学習方略
主な活動	1回目 必要な文房具等を持っているかどうか、誰のものか質問に答える。 2回目 文房具等を持っていない場合に、「貸して」「見せて」と願います。	・物や絵を指しながら語を言うなどして、伝えたいことを話す。 ・行動や指差しなどで、自身の理解が正しいかどうか確認する。
実施上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での学習で必要な文具や教科書等の有無や、携帯の必要性を確認できるようになること(行動面)を主な目的とする。語彙・表現を自在に使えるようにするために、この活動の後も繰り返しインプット・アプトプットする機会を設ける。 ・ジェスチャーや絵図の指差し等による伝達行動を積極的に認める。その行動に語彙・表現を音と文字を一体的に示して、意味の理解や表現のための支援を行う。 ・小学校は学年によって日常的に使う文房具が異なるため、学年に応じて扱う文房具の種類や数は調整する。 	
アイデア	<p><児童生徒の多様性への対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回の前半に、「わたしの・ぼくの・先生の」を使って誰が所有しているか伝える練習を入れても良い。 ・中学生を対象とする場合は、はじめから「あります」「ありません」の丁寧体で指導する。 <p><他のプログラム・教科との関連></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トピック型プログラムの「時間割」「忘れもの」と関連付けて実施することができる。 ・在籍学級でも、行事等の連絡時に持ち物を確認する場面で、この授業で学んだ語彙・表現を利用してもらおう。 	

活動案 【もちもの 第1回】

本時の目標		文房具名を知り、質問に対し、持っているかどうかを「(文房具が) ある/ない」で、応えることができる。	
時間	活動の展開	活動を行うための表現	○教材 ◇教師の支援 △留意点
5分	導入 1 文具を持っているかどうかゲームをする。	T:ゲームをします。 T:消しゴムです。(両手握ってどちらかに消しゴムをかくす) T:ある(持っている手を開く)、 S:ある T:ない(もう一方の手を開く)。 S:ない T:ゲームです。ある?ない? S:ある(片方を指さして) ない(もう一方を指さして)	○消しゴム ○「ある/ない」の絵カード ◇ゲーム開始の前にやり方を見せ、何度か「ある」「ない」を発話する機会を設ける。ただし、スムーズに言えるようであれば、すぐにゲームを行う。 ◇途中から役割交替をして、児童に「ある?ない?」と質問させる。
10分	展開 2 先生の筆箱に入っている文具とその名称を知る。 3 文房具を持っているか、やりとりする。 4 教科の学習によい筆箱を選ぶ。 ・筆箱の文房具の有無をワークシートに書く。 ・筆箱を選ぶ	T:筆箱です。先生の筆箱です。 S:筆箱。 T:(筆箱から文具を順次出し)何ですか? S:?? T:消しゴムです。(絵を提示) S:消しゴム (同パターンで筆箱、鉛筆、消しゴム、はさみ、のりに関しやりとり) T:先生の筆箱です。鉛筆と消しゴムとはさみとのりがある。 T:○さんの筆箱、消しゴム、ある? S:(筆箱から取り出して)ある。 T:のり、ある? S:ない。 (同パターンで他の文房具に関してもやりとり) T:○○さんの筆箱、何がある? S:~と~と~がある。 T:(A~Cの筆箱の絵を見せて)筆箱です。何がある? S1:鉛筆と消しゴムがある。 T:囲みます(ジェスチャーで) T:算数です。A、B、C、どの筆箱がいいですか。 S2:Bです。鉛筆と消しゴムがある。	○文具の実物(教員の筆箱、えん筆、消しゴム、はさみ、のり) ○文具の絵(ひらがなで、文字も示されているもの) △うまく言えない場合は、複数回聞かせリピートを促す。 △「~と~がある」の「と」「が」については聞かせるが、児童は言えなくてもよい。 ○児童の筆箱とその中身 ◇文具名を絵・文字カードで確認しながら発話を促す。 △4は、ひらがな清音の学習が終了している場合のみ取り組む。 ○ワークシート(3種類の筆箱(A~C)の絵と文具名) ・文具名を囲む ・選んだ筆箱に入っている文具をひらがなで書く(ひらがなの習得状況に応じ、なぞり書きができるものを用意)。
5分	まとめ 5 持っている文房具を話す。	T:○○さん、何を持っていますか(ある?) S:消しゴムと鉛筆と~、ある。	△「持っていますか?」と有無を尋ねる。児童は文脈から意味が推測できればよい。
評価の対象と観点		活動3で 自分が持っている文房具について、質問に「文房具名(が) ある/ない」を使って答えることができたか。 活動4で 文房具名をひらがなで読んだり書いたりすることができたか。	

活動案 【もちもの 第2回】

本時の目標 「貸して」「見せて」を使って、学習用具を借りたり見せてもらったりすることができる。			
時間	活動の展開	活動を行うための表現	○教材 ◇教師の支援・留意点
5分	導入 1 前時の復習 文房具の有無についてやりとりする。	T:何ですか。(文房具を見せて) S:消しゴム T:〇〇さん、消しゴムを持っていますか。消しゴム、ある？ S:ある。 (他の文房具も同様に行う)	○文房具の絵・文字カード (前時に利用したもの) ◇文具名等を忘れていた場合は、絵・文字カードを示して発話を促す。
10分	展開 2 依頼の仕方を知り、物を借りる。 ・教師が借り手としてやりとり ・児童が借り手としてやりとり ・教師が児童に有無を尋ね、ない場合に借りる 3 依頼の仕方を知り、教科書を見せてもらう。 ・教師が見せてもらう ・児童が見せてもらう 4 必要な色鉛筆を借りて、塗り絵をする。 ・教師が児童から色鉛筆を借りて塗る。 ・児童が、教師から色鉛筆を借りて塗る。	T:(筆箱内を見て) 鉛筆がない。貸して。 S:いいよ。 T:ありがとう。 (他の文房具でも行う) S:(消しゴムを忘れた絵を見て) 消しゴムがない。貸して。 S:いいよ。どうぞ。 T:はさみを持っていますか。 (ある?) S:ない。貸して。 T:どうぞ。 T:(教科書・ノートを見せ) 教科書です。ノートです。 S:教科書、ノート。 T:(教科書を忘れた絵を見せる) 教科書、ない。見せて。 S:いいよ(教科書を見せる) T:ありがとう。 T:(塗り絵と見本を見せ、児童がもつ色鉛筆を指さして)オレンジ/みどり、貸して。 S:(色鉛筆を差し出し)どうぞ。 T:(見本通り色を塗る) S:(塗り絵用紙をもらい) 赤、貸して。 T:どうぞ。	◇文房具がない状況を設定して、演じて、理解を促す。 ○忘れ物をした子どもの絵 消しゴム ◇モノの貸し借りをしながら、発話するよう促す。 ○教科書・ノート △動作を伴わせ、貸し借りとの違いを明確に理解させる。 ◇教室で見せてもらう機会がある物(本、タブレット等)でもやりとりする。 ○塗り絵と見本(半分は色が塗られ、ひらがなで色の名称が記載されている。半分は自由に色を決めて塗ることができる) ◇モデルとして教師が児童から色鉛筆を借りて、色を塗って見せる。そのあと、児童に同様に活動を促す。 △色名が言えなければ、鉛筆を指さして「これ、貸して」でよい。
7分	まとめ 5 感想の交流	T:(完成後の塗り絵を指し)、～さん、見せて。 S1:～さんの絵、きれい! S1:～さんの絵、かわいい! S3:～さんの絵、好き!	◇完成した塗り絵をお互いに見せ合って、よいところを伝え合う。 △「きれい・かわいい」を聞かせ、言えそうであれば言わせ、難しければ「いい」でよい。
評価の対象と観点		活動2・3で、必要なものを、依頼表現「貸して」「見せて」を使って、借りたり見せてもらったりすることができたか。 活動4で 教師に頼んで色鉛筆を借りて、指定された色や自分で選んだ色で塗り絵を完成することができたか。	

なにが ある？

ふでばこ A	ふでばこ B	ふでばこ C
筆箱の中身の絵 (鉛筆・のり・はさみ)	筆箱の中身の絵 (消しゴム・のり・はさみ)	筆箱の中身の絵 (鉛筆・消しゴム・のり・はさみ)
<ul style="list-style-type: none"> ・えんぴつ ・けしごむ ・のり ・はさみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・えんぴつ ・けしごむ ・のり ・はさみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・えんぴつ ・けしごむ ・のり ・はさみ

「さんすう」 どれが いい？ (A B C)

えんぴつ	けしごむ	のり	はさみ
------	------	----	-----

第2回 塗り絵サンプル

	あか
	あお
	きいろ
	みどり
	しろ
	くろ

